介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名 株式会社ベネッセスタイルケア

研修事業の名称 ベネッセ介護職員初任者研修神奈川県通信コース

1 職務の理解(6時間) 項目名	時間数	通学	通信	添削課	鎌美山家及び宮羽の中佐士 は
垻日 名	時间剱			源門森 題番号	講義内容及び演習の実施方法
② △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	0 84 88	時間数	時間数	吃吐奶	通信課題の概要
①多様なサービスの理解	3 時間	0 時間	3 時間	臨時的 対応	○臨時的対応通信課題の概要
			(臨時的	1日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に
			対応 3	問題 1 問題 2	置いたテキスト熟読およびレポート課題
			時間)	問題 2	取り組みにより実施する。
				問題 4	出題ポイント
				問題 5	・介護サービスの種類に関する問題
				問題 6	・代表的な居宅サービスの内容に関する
					問題
					・介護保険法の目的に関する問題
					・地域密着型サービスに関する問題
					・介護の仕事に求められる専門性に関す
					る問題
					・介護の仕事に求められる役割に関する
					問題
②介護職の仕事内容や働く現場の	3 時間	0 時間	3 時間	臨時的	〇臨時的対応通信課題の概要
理解			(臨時的	対応 1 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に
			対応 3	問題 7	置いたテキスト熟読およびレポート課題
			時間)	問題8	取り組みにより実施する。
				問題 9 問題 10	出題ポイント
				問題 11	・法律上の介護福祉士の内容に関する問
				問題 12	題
					・介護福祉士資格取得の方法に関する問
					題
					・介護サービス従事者の養成システム全
					般の見直しに関する問題
					・要介護状態にある高齢者と介護サービ
					スの役割のとらえ方に関する問題
					・介護職員初任者研修課程修了段階の到
					達に関する問題
合計	6 時間	0 時間	6 時間		
			(臨時的		
			対応 6		

2 介護における尊厳の保持・	自立支援	(9 時間])		
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
①人権と尊厳を支える介護	4.5時	0 時間	4.5時	臨時的	〇臨時的対応通信課題の概要
	間		間	対応 2 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に
			(臨時的	問題 1	置いたテキスト熟読およびレポート課題
			対応	問題 2	取り組みにより実施する。
			1.5時	問題 3	出題ポイント
			間)		・「虐待防止・身体拘束禁止」に関する
				(通常課 題)第1	問題
				回	・QOLが求められた社会的背景に関す
				問題 1	る問題
				問題 2 問題 3	・高齢者虐待防止に関する問題
				問題 4	
				問題 5 問題 6	
				問題 7	〇通常添削課題の出題ポイント
				問題 8	・高齢者のための国連五原則に関する問
					題
					・QOL の考え方に関する問題
					・ノーマライゼーションの考え方に関す
					る問題
					・バリアフリーとユニバーサルデザイン
					に関する問題
					・高齢者の虐待の種類に関する問題
					・高齢者の財産を守る制度に関する問題
②自立に向けた介護	4.5時	0 時間	4.5時	第1回	〇添削課題出題ポイント
	間		間	問題 9 問題 10	・自立支援に関する問題
				問題 11	・自己選択・自己決定に関する問題
				問題 12 問題 13	・介護予防に関する問題
				問題 14	
				問題 15	
合計	9 時間	0 時間	9 時間		

3 介護の基本(6時間)					
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
①介護職の役割、専門性と多職種	3 時間	0 時間	3 時間	臨時的	〇臨時的対応通信課題の概要
との連携			(臨時	対応 2 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に
			的対応	問題 4	置いたテキスト熟読およびレポート課題
			3 時	問題 5 問題 6	取り組みにより実施する。
			間)	問題 7	出題ポイント
				問題 8 問題 9	・介護環境の特徴と介護システムに関す る問題
					・介護の専門性に関する問題
					・求められる介護福祉士像に関する問題
					・多職種チームの意義と目的に関する問
					題
					・介護の理念に関する問題
					・介護実践の原則に関する問題
②介護職の職業倫理	1 時間	0 時間	1 時間	第1回 問題16	〇添削課題出題ポイント
				問題 17	・介護職の職業倫理に関する問題
				問題 18	・利用者のプライバシーに関する留意点
					についての問題
					・介護福祉士の職業倫理に関する問題
③介護における安全の確保とり	1 時間	0 時間	1 時間	第1回	〇添削課題出題ポイント
スクマネジメント				問題 19 問題 20	・介護職における安全確保に関する問題
				問題 21	・危険予知訓練に関する問題
				問題 22 問題 23	・感染症予防に関する問題
				IH] K점 ∠∪	
④介護職の安全	1 時間	0 時間	1 時間	(通常課	〇添削課題出題ポイント
				題)第1回	・介護職員の安全衛生に関する問題
				問題 24	・介護職員のこころの健康管理に関する
				問題 25 問題 26	問題
合計	6 時間	0 時間	6 時間		

4 介護・福祉サービスの理解	と医療と	の連携	(9 時間)		
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
① 介護保険制度	4 時間	0 時間	4 時間	 臨時的	 ○臨時的対応通信課題の概要
7. 反体院则及	4 h4 (H)	0 时间	(臨時	対応	講師作成資料の学習のポイントを念頭に置
			的対応	2日目	いたテキスト熟読およびレポート課題取り
			1.5時	問題 10 問題 11	組みにより実施する。
			間)	問題 12	出題ポイント
			[H]/		・介護保険制度が創設された目的に関する
				(通常課	問題
				題)第1	凹層 ・介護保険制度のサービス利用に関する問
				回 問題 27	題
				問題 28	ペ ・介護保険制度の運営に関わる行政組織な
				問題 29 問題 30	どに関する問題
				同題 30 問題 31	こに対する旧図
				問題 32	
				問題 33 問題 34	 ○ (通常) 添削課題出題ポイント
				10 <u>20</u> (11)	・介護保険制度創設に関する問題
					・介護保険法の概要に関する問題
					・要支援、要介護認定に関する問題
					・介護財源に関する問題
					・介護保険給付に関する問題
					・介護サービス事業者の指定、更新に関す
					る問題
					・介護保険給付以外の事業に関する問題
					・介護保険のしくみに関する問題
	1. 5	0 時間	1. 5	第2回	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
ョン	時間		時間	問題 1	・医行為に関する問題
				問題 2 問題 3	・訪問看護に関する問題
				問題 4	・リハビリテーションに関する問題
					・施設における看護と介護の連携に関する
					問題
③障害福祉制度およびその他制度	3.5時	0 時間	3.5時	第2回	〇添削課題出題ポイント
	間		間	問題 5	・障害者福祉の理念の概要に関する問題
				問題 6 問題 7	・障害者の定義と手帳制度に関する問題
				問題 8	・障害福祉サービスの種類と内容に関する
				問題 9 問題 10	問題
				問題 10	・個人情報および個人情報取扱事業者に関
					する問題
					・成年後見制度に関する問題
					・日常生活自立支援事業に関する問題
					・虐待防止制度に関する問題
合計	9 時間	0 時間	9 時間		

5 介護におけるコミュニケー	ション技	術 (6 時	:間)		
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
①介護におけるコミュニケーショ	2 時間	0 時間	2 時間	臨時	○臨時的対応通信課題の概要
ン			(臨時	的対 応	講師作成資料の学習のポイントを念頭に置
			的対応	3 日目	いたテキスト熟読およびレポート課題取り
			2 時間)	問題 1	組みにより実施する。
				問題 2 問題 3	出題ポイント
				問題 4	・傾聴、受容、共感に関する問題
					・認知症の人とのコミュニケーションに関
					問題
					・介護におけるコミュニケーショの意味や
					役割に関する問題
					・閉じられた質問、開かれた質問、重複す
					る質問に関する問題
②介護におけるチームのコミュニ	4 時間	0 時間	4 時間	臨時 的対	○臨時的対応通信課題の概要
ケーション			(臨時	応 3	講師作成資料の学習のポイントを念頭に置
			的対応	日目	いたテキスト熟読およびレポート課題取り
			1 時間)	問題 5 問題 6	組みにより実施する。
					出題ポイント
				(通常	・記録の目的を事例検討から考える問題
				課題)	・ケアカンファレンスや事例検討における
				第2回	介護職員に求められる役割に関する問題
				問題 12 問題 13	
				問題 14	
				問題 15	〇(通常)添削課題出題ポイント
				問題 16 問題 17	・記録の意義,目的,書き方,留意点に関す
					る問題
					・事故報告書に関する問題
					・報告,連絡、相談に関する問題
					・居宅サービスにおけるサービス担当者会
A =1	C n+ 88	∧ n+ 88	C n+ 88		議, ケアカンファレンスに関する問題
合計	6 時間	0 時間	6 時間		

6 老化の理解(6時間)					
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
①老化に伴うこころとからだの	3 時間	0 時間	3 時間	臨時的	○臨時的対応通信課題の概要
変化と日常			(臨時的	対応 3 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に置
			対応 3	問題7	いたテキスト熟読およびレポート課題取り
			時間)	問題 8 問題 9	組みにより実施する。
				問題 10	出題ポイント
				問題 11	・老化による日常変化への影響に関する問
				問題 12	題
					・老化によるこころとからだの変化の観察
					のポイントに関する問題
					・脈拍に関する問題
					・フレイル予防に関する問愛
					・体温に関する問題
					・老化による高齢者のこころの状態に関す
					る問題
②高齢者と健康	3 時間	0 時間	3 時間	第2回	○添削課題出題ポイント
				問題 18 問題 19	・高齢者の健康に関する問題
				問題 20	・高齢者の意識障害に関する問題
				問題 21 問題 22	・老化に伴う疾患に関する問題
				問題 23	・廃用症候群が引き起こす症状に関する問
				問題 24	題
				問題 25	・高血圧症に関する問題
					・老人性高血圧に関する問題
					・老化に伴う脳血管疾患に関する問題
合計	6 時間	0 時間	6 時間		

7 認知症の理解(6時間)					
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
① 認知症を取り巻く状況	3 時間	0 時間	3 時間	臨時的	○臨時的対応通信課題の概要
			(臨時的	対応 4 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に置
			対応 3	問題 1	いたテキスト熟読およびレポート課題取り
			時間)	問題 2 問題 3	組みにより実施する。
				問題 4	出題ポイント
				問題 5 問題 6	・認知症の人たちとの関わりに関する問題
					・パーソン・センタード・ケアに関する問
					題
					・認知症の人の気持ちに関する問題
					・認知症の理解に関する問題
					・認知症の人が苦手なことに関する問題
	4 -+	0.54.88	4 -+	# 0 G	・認知症の中核症状に関する問題
②医学的側面から見た認知症の	1 時間	0 時間	1 時間	第 2 回 問題 26	○添削課題出題ポイント
┃基礎と健康管理 ┃				問題 27	・認知症に似た症状に関する問題
				問題 28 問題 29	・改訂長谷川式簡易知能評価スケールに関
				問題 30	┃ する問題 ┃ ┃ ┃・認知症の原因となる主な疾患に関する問
				問題 31	題
					^5 ・アルツハイマー型認知症と脳血管認知症
					の比較に関する問題
					・認知症の原因疾患に関する問題
					・認知症に関する問題
③認知症に伴うこころとからだ	1 時間	0 時間	1 時間	第2回	○添削課題出題ポイント
の変化と日常生活				問題 32 問題 33	・周辺症状に関する問題
				问題 33 問題 34	・基本的なケアに関する問題
				問題 35	・認知症の人のケアマネジメントセンター
					方式に関する問題
					・認知症の人に関わる介護職員に関する問
					題
④家族への支援	1 時間	0 時間	1 時間	第 2 回 問題 36	〇添削課題出題ポイント
				问題 30 問題 37	・家族への支援に関する問題
				問題 38	・家族介護者へのエンパワーメントに関す
					る問題
合計	6 時間	0 時間	6 時間		

8 障害の理解(3時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①障害の基礎的理解	1 時間	0 時間	1 時間	第3回 問題1 問題2 問題3	○添削課題出題ポイント・ICF の考え方に関する問題・障害の概念に関する問題・障害者基本法に関する問題
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	0.5時間	0 時間	0.5時間	第3回問題4問題5問題6問題8	○添削課題出題ポイント・肢体不自由障害に関する問題・音声, 言語, 咀嚼機能障害に関する問題・内部障害に関する問題・精神障害に関する問題・知的障害に関する問題
③家族の心理、かかわり支援の 理解	1.5 時間	0 時間	1.5時間(臨時的対応1.5時間)	臨対日 4日題7 問題題8 問題9	〇臨時的対応通信課題の概要 講師作成資料の学習のポイントを念頭に置いたテキスト熟読およびレポート課題取り 組みにより実施する。 出題ポイント ・障害児・者の支援者に求められる支援内 容に関する問題 ・障害児・者の家族に関する問題 ・家族への支援に関する問題
合計	3 時間	0 時間	3 時間		

9 3									
基	項目名	時間数	通学	通信	添削課題	講義内容及び演習の実施方法			
本 知			時間数	時間数	番号	通信課題の概要			
基本知識の学習	① 介護の基本的な考え方	4. 5	0 時間	4.5時	臨時的	〇臨時的対応通信課題の概要			
学習		時間		間	対応 4 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に			
				(臨時的	問題 10	置いたテキスト熟読およびレポート課題			
				対応 4.	問題 11 問題 12	取り組みにより実施する。			
				5 時間)		出題ポイント			
					臨時的	・介護に関する専門的知識・技術の必要			
					対応 5 日目	性に関する問題			
					問題 1	・介護に関わる法律上の規定や考え方に			
					問題 2	関する問題			
					問題 3 問題 4	・生活の質(QOL)を高める視点の大切			
					問題 5	さに関する問題			
					問題 6	・生活支援としての介護サービスの意			
						味、求められている/いないことに関			
						する問題			
						・医療サービスと介護サービスに求めら			
						れる役割の違いに関する問題			
						・介護サービスに従事する人に求められ			
						る能力に関する問題			
						・介護サービスの目的及び介護に関わる			
						法律上の規定や考え方に関する問題			
						・利用者主体の介護に関する問題			
						・介護サービス従事者が生活の質QOL			
						を高める視点を持ちながら、日々利用			
						者との関係の中で大切にすべきことに			
						関する問題			
	②介護に関するこころのし	3 時間	0 時間	3 時間	第3回 問題9	〇添削課題出題ポイント			
	くみの基礎的理解				問題 10	・記憶の基礎知識に関する問題			
					問題 11	・感情の基礎知識に関する問題			
					問題 12 問題 13	・マズローの欲求階層説に関する問題			
					10	・障害への心理的反応に関する問題			
						・障害受容に関する問題			
	③介護に関するからだのし	3 時間	0 時間	3 時間	第3回 問題14	〇添削課題出題ポイント			
	くみの基礎的理解				問題 15	・人体の構造に関する問題			
					問題 16	・人体の機能に関する問題			
					問題 17 問題 18	・バイタルサインに関する問題			
					問題 19	・骨, 関節, 筋の基礎知識に関する問題			
					問題 20 問題 21	・中枢神経系に関する問題			
					IH] KRK CI	・末梢神経系に関する問題			
						・自律神経の機能に関する問題			
						・老化と加齢に関する問題			

				1		
生	④生活と家事	3. 5	0 時間	3.5時	臨時的	○臨時的対応通信課題の概要
生活支援技術		時間		間	対応 5 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に
援技				(臨時	問題7	置いたテキスト熟読およびレポート課題
術の				的対応	問題8	取り組みにより実施する。
の講義				1.5時	問題 9	出題ポイント
				間)	(通常課	・調理(食事)支援時の衛生管理に関す
演 習					題)第4	問題
					回 問題 1	・衣服の洗濯に関する問題
					問題 2	・清掃支援で確認するポイントに関する
					問題3	問題
					問題 4 問題 5	
					問題 6	
						〇(通常)添削課題出題ポイント
						・家事と生活の理解に関する問題
						・家事援助と生活支援に関する問題
						・家事援助の留意点に関する問題
						・栄養の理解に関する問題
						・衣服の役割に関する問題
						・住居の管理方法に関する問題
	⑤快適な居住環境整備と介	3. 5	0 時間	3.5時	臨時的	〇臨時的対応通信課題の概要
	護	時間		間	対応 5 日目	講師作成資料の学習のポイントを念頭に
				(臨時	問題 10	置いたテキスト熟読およびレポート課題
				的対応	問題 11	取り組みにより実施する。
				1.5時	問題 12	出題ポイント
				間)	(通常課	・居室内で過ごすことの多い利用者に対
					題)第4	する居住環境づくりに関する問題
					回 問題 7	・快適な居住環境づくりに関する問題
					問題 8	・住居の安全と事故防止に関する問題
					問題 9	
						〇(通常)添削課題出題ポイント
						・快適な居室環境づくりに関する問題
						・介護職員が住環境整備で心がけること
						に関する問題
						・福祉用具(機器)に関する問題

⑥整容に関連したこころと	6 時間	6 時間	0 時間	○講義
からだのしくみと自立に向				・ここから先は、ADL(日常生活動
けた介護				作)すなわち生活場面ごとの「生活支
				援技術(自立度に応じた身体の介護技
				術)」を練習し、身につけていくこと
				視野に入れた演習を含むことを伝え
				る。
				・身体状況に合わせた衣服の選択と着
				脱、身支度、整容行動、洗面の意義・
				効果について学ぶ。
				〇演習
				・OJT等を想定した演習を含めて実施
				・受講者が、利用者役と介護者役で2人
				一組となり、提示した事例(利用者)
				について、利用者の自立に向けた衣服
				の着脱方法を考え、その実技を演習す
				る。(座位、ベッド上)講師は都度、
				助言・指導する。

⑦移動・移乗に関連したこ	13 時間	13 時間	0 時間	〇講義
ころとからだのしくみと自				・「移動・移乗」に関する知識を、テキ
立に向けた介護				ストに沿いながら説明する。
				・さまざまな移動・移乗に関する福祉用
				具とその活用方法について、テキスト
				に沿い、実物を用いながら解説する。
				・ボディメカニクスの基本原理、重心、
				ロットリック また まま
				双方が安全で安楽な移動・移乗の方法
				について学ぶ。
				 ・「移動と社会参加の留意点と支援」と
				いうタイトルのもと、移動や外出とそ
				の自立の大切さなどを、テキストに沿
				ー いながら、現場の実践例も交えて説明
				する。
				○演習
				┃ ┃ ・OJT等を想定した演習を含めて実施
				 ・車いすや杖を用い、受講者が、利用者
				した事例(利用者)について、利用者
				の自立に向けた移動・移乗方法の方法
				を考え、その実技を演習する。講師は
				都度、助言・指導する。
				・具体的には、ベッド上での体位変換
				(水平移動・寝返り・側臥位から端座
				位)、ベッド・車いす間の移乗、車い
				す移動、視覚障害者の歩行介助、肢体
				不自由者の杖歩行介助をロールプレイ
				ング形式で行う。
				~ / 1/24 C 13 7 o

	T	1		1	
	⑧食事に関連したこころと	6 時間	6 時間	0 時間	〇講義
	からだのしくみと自立に向				・「食事」に関する知識を、テキストに
	けた介護				沿いながら説明する。
					・「食事環境の整備」「食事に関連した
					福祉用具・食器の活用方法と食事形態
					とからだのしくみ」などのタイトルの
					もと、食事にかかる様々な事柄につい
					て、テキストに沿いながら、現場の実
					践例も交えて解説する。
					・「楽しい食事を阻害するこころとから
					だの要因の理解と支援方法」「食事と
					社会参加の留意点と支援」というタイ
					トルのもと、テキストに沿いながら、
					現場の実践例も交えて説明する。
					・口腔ケアの定義、誤嚥性肺炎の予防に
					ついて、テキストに沿いながら
					現場の実践例も交えて説明する。
					〇演習
					・OJT等を想定した演習を含めて実施
					・受講者が、利用者役と介護者役で2人
					一組となり、持参したお弁当を用い、
					提示した事例(利用者)について、利
					用者の自立に向けた食事方法を考え、
					実技を演習する。講師は都度、助言・
					指導する。
					・具体的には、肢体不自由者・視覚障害
					者への座位での食事、口腔ケアをロー
					ルプレイング形式で行う。
<u> </u>	L	I			

9入浴、清潔保持に関連し	6 時間	6 時間	0 時間	○講義
たこころとからだのしくみ				・「入浴、清潔保持」に関する知識
と自立に向けた介護				を、テキストに沿いながら説明す
				る。
				・さまざまな入浴用具と整容用具の活
				用方法について、テキストに沿い、
				実物を用いながら解説する。
				・さまざまな入浴・清潔保持のための
				方法について、テキストに沿いなが
				ら、現場の実践例も交えて説明す
				る。
				・「楽しい入浴を阻害するこころとか
				らだの要因の理解と支援方法」とい
				うタイトルのもと、テキストに沿い
				ながら、現場の実践例も交えて説明
				する。
				〇演習
				・OJT等を想定した演習を含めて実
				施
				・簡易浴槽やお湯やタオルを用い、受
				講者が、利用者役と介護者役で2人
				一組となり、提示した事例(利用
				者)について、利用者の自立に向け
				た入浴・清潔保持の方法を考え、実
				技を演習する。講師は都度、助言・
				指導する。
				・具体的には、浴室での洗体・洗髪介
				助、浴槽の出入りの介助、清拭、座
				位での足浴、爪切りをロールプレイ
				ング形式で行う。

49 THE VIII 1 - 111 I	± 1 + 7 1 ^	г г+	C C n+ BP	0 r+ 88	○-# ¥
		. 5 時	6.5時間	0 時間	〇講義
	くみと自立に向	間			・「排泄」に関する知識を、テキスト
けた介護					に沿いながら説明する。
					・さまざまな排泄環境整備と排泄用具
					の活用方法について、テキストに沿
					い、実物を用いながら解説する。
					・「爽快な排泄を阻害するこころとか
					らだの要因の理解と支援方法」とい
					うタイトルのもと、生理的・心理
					的・社会的な意味、プライド・羞恥
					心、プライバシーの確保、おむつは
					最後の手段であること、おむつ使用
					の弊害、排泄障害が日常生活上に及
					ぼす影響、排泄ケアを受けることで
					生じる心理的な負担・尊厳や生きる
					意欲との関連、便秘の予防につい
					て、テキストに沿いながら、現場の
					実践例も交えて説明する。
					○演習
					・OJT等を想定した演習を含めて実
					施
					・ポータブルトイレやおむつを用い、
					受講者が、利用者役と介護者役で2人
					一組となり、提示した事例(利用者)
					について、利用者の自立に向けた排泄
					方法を考え、実技を演習する。講師は
					都度、助言・指導する。
					・具体的には、ベッド上での紙おむつ
					交換の介助、ベッドからベッド横ポー
					タブルトイレでの排泄介助をロールプ
					レイング形式で行う。

⑪睡眠に関したこころとか	3 時間	3 時間	0 時間		〇講義
らだのしくみと自立に向け					・「睡眠」に関する知識を、テキスト
た介護					に沿いながら説明する。
					・さまざまな睡眠環境と用具の活用方
					法について、テキストに沿いながら
					説明する。
					・「快い睡眠を阻害するこころとから
					だの要因の理解と支援方法」という
					タイトルのもと、安眠のための介護
					の工夫、安楽な姿勢・褥瘡につい
					て、テキストに沿いながら、現場の
					実践例も交えて説明する。
					〇演習
					・OJT等を想定した演習を含めて実
					施
					・受講者が、利用者役と介護者役で2
					人一組となり、ベッドを用いて、提
					示した事例(利用者)について、ベ
					ッドメイキングや体位変換など利用
					者の自立に向けた睡眠方法を考え、
					実技を演習する。講師は都度、助
					言・指導する。
⑫死にゆく人に関したここ	5 時間	3 時間	2 時間	第4回	○講義
ろとからだのしくみと終末				問題 10 問題 11	・終末期に関する基礎知識とこころと
期介護				問題 12	からだのしくみについて、テキスト
				問題 13	に沿いながら、現場の実践例も交え
					て説明する。
					・生から死への過程、死に向き合うこ
					ころの理解、苦痛の少ない死への支
					援が理解できるようになる。
					○演習
					・OJT等を想定した演習を含めて実
					施
					・尊厳ある死について グループで討
					議。グループからの発表を受けて、講
					師が整理し助言、総括する。
					〇添削課題出題ポイント
					・死へのプロセスと介護に関する問題
					・在宅ターミナルケアに関する問題
					・死にゆく人のこころの過程に関する
					問題
					・看取りにおける家族支援に関する問
					題

41	③介護過程の基礎的理解	2 時間	○講義						
生活	10月後過程の基礎的理解	스 바퀴티							
支			・補講の内容を含めて実施						
┃ 援 ┃ 技			・介護過程の目的・意義・展開について、テキストに沿いながら解説す						
生活支援技術演習			ప .						
習			・介護過程とチームアプローチについて、テキストに沿いながら、現場						
			の事例なども交えて説明する。						
			〇演習						
			・個別援助計画書の作成を行う。						
	14総合生活支援技術演習	10 時間	〇講義						
			・補講の内容を含めて実施						
			・事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な						
			支援技術の検討→支援技術演習→課題の発見という流れをグループご						
			とに行う。						
			〇演習						
			・OJT等を想定した演習を含めて実施						
			・事例は高齢(認知症・片麻痺)の2事例						
実習		0 時間							
	合計	75 時間							

10 振り返り(4時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 振り返り	2 時間	〇講義
		・補講の内容を含めて実施
		・研修を通して学んだこと、継続して学ぶべきこと、根拠に基づく介護
		についての要点をおさらいする。
		〇演習
		・介護職として重要な視点・姿勢についての要点を、グループで討議。
		グループからの発表を受けて、講師が整理し、総括する
②就業への備えと研修修了後にお	2 時間	〇講義
ける継続的な研修		・補講の内容を含めて実施
		・「介護職員として就業後も継続して学ぶべきこと」などのタイトルの
		もと、介護サービスに従事してからのあるべき姿について、伝達す
		る。
		〇演習
		・OJT等を想定した演習を含めて実施
		・次のステップへ高めるため継続して学習・研鑽する課題について、グ
		ループで討議。グループからの発表を受けて、講師が整理し助言、総
		括する。
合計	4 時間	
全カリキュラム合計時間		130 時間

[※]規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

[※]本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名 株式会社ベネッセスタイルケア

研修事業の名称 ベネッセ介護職員初任者研修神奈川県通信コース

1 職務の理解(6時間)							
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法					
①多様なサービスの理解	3 時	 ○講義 ・本研修の目的について説明する。 ・介護は病気を治す医療とは異なり、「生活そのものを支援する」分野であり、それを「仕事(サービス)」として携わるとはどういうことなのかなどについて、テキスト及び講師の経験談などを基に、概説する。 ○演習 ・受講者も、既に介護の仕事に就いている者や、家族の介護を経験している者もいるなか、介護サービスにはどのような種類があるか、グループになって討議、情報交換。その内容をふまえて、講師が「介護保険サービス(居宅、施設)」「介護保険外サービス」に整理・概説し、介護サービスにはいろいろあることに気づいてもらう。 					
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3 時間	 ○講義 ・居宅、施設など、それぞれの仕事内容について、上記の講義をふまえ、テキスト及び講師の経験談などを基に、より具体的に説明するとともに、どのサービスの種類に就くにしても、本研修で学ぶ「知識・技術・理念」がベースになることを認識してもらう。 ・ケアプランの位置づけからサービス提供までの業務の流れを説明し、チームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含む地域の社会資源との連携について学習する。 ○演習 ・訪問介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護など具体的な介護サービスとそこで働く介護職員を紹介しているDVD教材を視聴。介護の仕事について、より具体的にイメージをしてもらう。その上で、「生活を支援する」とは、具体的にどのような支援があるのかをグループで討議。その内容をふまえて、講師が整理し総括する。 					
合計	6 時間						
2 介護における尊厳の保持・		(9 時間)					
4 月歳にのける身取り体持・	口쓰叉抜	. (マル可(申)/					

項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
①人権と尊厳を支える介護	4. 5	1.5	3 時間	第1回	○講義
	時間	時間		問題1	│ ・個人として尊重、アドボカシー、エン
	- 3163	- 31-3		問題 2	パワメントの視点、「役割」の実感、
				問題 3 問題 4	尊厳のある暮らし、利用者のプライバ
				問題 5	
				問題 6	シーの保護について、概要をテキスト
				問題 7 問題 8	に沿いながら、現場の具体的な事例な
				问起 δ	どを交えて解説する。
					・介護分野におけるICF、QOL、ノ
					ーマライゼーションの考え方の概要を
					正しく理解できるようにする。
					┃ ┃・身体拘束禁止、高齢者虐待防止法、高
					齢者の養護者支援について、概要をテ
					キストに沿いながら、現場の具体的な
					事例などを交えてどのように対応して
					いくべきか解説する。
					・個人の権利を守る制度として、個人情
					報保護法、成年後見制度、日常生活自
					立支援事業について、概要を解説す
					る。
					〇演習
					・「介護サービスの利用者の尊厳を著し
					く傷つける言動とその理由」について
					グループで討議。グループからの発表
					を受けて、尊厳という概念に対する気
					づきを促すよう講師が整理し助言す
					る。
					〇添削課題出題ポイント
					・高齢者のための国連五原則に関する問
					題
					・QOL の考え方に関する問題
					・ノーマライゼーションの考え方に関す
					る問題
					・バリアフリーとユニバーサルデザイン
					に関する問題
					・高齢者の虐待の種類に関する問題
					・高齢者の財産を守る制度に関する問題
	4. 5	0 時間	4. 5	第1回	○添削課題出題ポイント
	時間	스 뉴션[타]	時間	問題 9	・自立支援に関する問題
	h4][目]		h弘[日]	問題 10	
				問題 11 問題 12	・自己選択・自己決定に関する問題
				问題 12 問題 13	・介護予防に関する問題
				問題 14	
				問題 15	
合計	9 時間	1. 5	7.5時		
音町	2 中41日]		_		
		時間	間		

3 介護の基本 (6 時間) 項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
XHH	-31632	時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
	3 時間	3 時間	0 時間		〇講義
との連携			21.13		○ *** *** ・ここから、より一層、介護そして介護
					サービスそのものにかかる事柄を学ぶ
					ことを伝える。
					・ここまでの学習を振り返り、改めて
					「介護とは何か」ということについ
					て、「介護環境の特徴の理解」という
					点から、訪問介護と施設介護サービス
					の違い、地域包括ケアの方向性をテキ
					ストに沿いながら、現場の状況なども
					交えて説明する。
					・介護サービスという生活を支援するに
					あたっての「専門性」について、テキ
					ストに沿いながら、重度化防止、遅延
					化の考え方や自立した生活を支えるた
					めの援助、根拠のある介護が理解でき
					るよう現場での実践例を交えて解説す
					る。 る。
					┃ ^{~。} ┃・介護サービスの利用者には、ケアマネ
					ジャーや医師、看護師、理学療法士な
					ど、介護職員以外にも、様々な職種が
					関わっていることを伝え、主な職種に
					ついてと、チームケアの重要性や役割
					が理解できるようテキストに沿いなが
					ら紹介するとともに、現場でどのよう
					- ら桐がするとともに、現場でとめよう - に連携しているかを説明する。
					に建物しているかを説明する。 ○演習
					○ ^{興自} ・上記の講義内容をふまえ、「家族によ
					- エ記の講義内谷をふまえ、「家族によ る介護と専門職による介護の違い」に
					る
					ういて、グループで討議。グループが らの発表を受けて、講師が整理し総
					括。専門性を伴った介護サービスの提供しるのための党羽の大切され帰われ
					供とそのための学習の大切さを喚起す z
	1 時間	0 時間	1 時間	第1回	る。 〇添削課題出題ポイント
⑤川 炭戦V/戦未 垤	1 四十日	○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1 144 [日]	問題 16	
				問題 17	┃・介護職の職業倫理に関する問題 ┃ ┃ ┃・利用者のプライバシーに関する留意点
				問題 18	
					についての問題
					・介護福祉士の職業倫理に関する問題

③介護における安全の確保とリ スクマネジメント	1 時間	0 時間	1 時間	第1回 問題19 問題20 問題21 問題22 問題23	○添削課題出題ポイント・介護職における安全確保に関する問題・危険予知訓練に関する問題・感染症予防に関する問題
④介護職の安全	1 時間	0 時間	1 時間	第 1 回 問題 24 問題 25 問題 26	○添削課題出題ポイント・介護職員の安全衛生に関する問題・介護職員のこころの健康管理に関する問題
合計	6 時間	3 時間	3 時間		

4 介護・福祉サービスの理解	と医療と	の連携	(9 時間)		
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要
	4	1. 5	2. 5	第1回	 ○講義
()	時間	時間	時間	問題 27	・介護保険制度創設の背景と目的、動向、
				問題 28 問題 29	基本的な仕組み、ケアマネジメント、予
				問題 30	防重視型システムへの転換、地域包括セ
				問題 31	ンターの設置、地域包括ケアシステムの
				問題 32 問題 33	推進など、介護保険制度についてテキス
				問題 34	トに沿いながらポイントを説明する。
					・仕組みの基礎的理解として、保険制度と
					しての基本的仕組み、介護給付と種類、
					予防給付、要介護認定の手順についてテ
					キストに沿いながらポイントを説明す
					ā .
					・介護保険制度を支える資源、組織・団体
					の機能と役割について、財政負担、指定
					介護サービス事業者の指定についてテキ
					ストに沿いながらポイントを説明する。
					〇演習
					・介護保険制度、各サービスや地域支援の
					役割についてグループで討議。グループ
					からの発表を受けて、講師が整理し助
					言、総括する。
					〇添削課題出題ポイント
					・介護保険制度創設に関する問題
					・介護保険法の概要に関する問題
					・要支援、要介護認定に関する問題
					・介護財源に関する問題
					・介護保険給付に関する問題
					・介護サービス事業者の指定、更新に関す
					る問題
					・介護保険給付以外の事業に関する問題
					・介護保険のしくみに関する問題
②医療との連携とリハビリテーシ	1. 5	0 時間	1.5	第2回	〇添削課題出題ポイント
ョン	時間		時間	問題 1 問題 2	・医行為に関する問題
				問題 3	・訪問看護に関する問題
				問題 4	・リハビリテーションに関する問題
					・施設における看護と介護の連携に関する
					問題

③障害者自立支援制度およびその他制度	3.5 時間	0 時間	3.5 時間	第 問題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 10 問題 11	 ○添削課題出題ポイント ・障害者福祉の理念の概要に関する問題 ・障害者の定義と手帳制度に関する問題 ・障害福祉サービスの種類と内容に関する問題 ・個人情報および個人情報取扱事業者に関する問題 ・成年後見制度に関する問題 ・日常生活自立支援事業に関する問題 ・虐待防止制度に関する問題 	
合計	9 時間	1.5 時間	7.5 時間			

5 介護におけるコミュニケーション技術(6 時間)							
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法		
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要		
①介護におけるコミュニケーショ	2 時間	2 時間	0 時間		○講義		
ン					・介護におけるコミュニケーションの意		
					義、目的、役割についてテキストに沿い		
					ながら説明するとともに、相手の心身機		
					能に合わせた配慮が必要であることを説		
					明する。		
					・コミュニケーション技法、利用者と家族		
					とのコミュニケーション、利用者の状		
					況・状態に応じたコミュニケーションに		
					ついて学ぶ。		
					○演習 ・利田孝の比能・壮辺に トス対応 5.理解す		
					・利用者の状態・状況による対応を理解す		
					るため、受講者が2人一組で、それぞれ		
					利用者役と介護者役となり、ロールプレ		
					イングによるコミュニケーション技術を		
					体験する。それを受けて、講師が助言し		
					総括。コミュニケーション技術は、現場		
					でも意識して磨いていく必要があること		
					を喚起する。		
②介護におけるチームのコミュニ ケーション	4 時間	1 時間	3 時間	第 2 回 問題 12 問題 13	○講義 ・記録における情報の共有化、報告・連		
				問題 14	絡・相談・コミュニケーションを促す環		
				問題 15 問題 16	境について、テキストに沿いながらポイ		
				問題 17	ントを説明する		
					〇演習		
					・報告、連絡、相談について事例を基にグ		
					ループで討議。グループからの発表を受		
					けて、講師が整理し助言、総括する。		
					〇添削課題出題ポイント		
					・記録の意義,目的,書き方,留意点に関す		
					る問題		
					・事故報告書に関する問題		
					・報告, 連絡、相談に関する問題		
					・居宅サービスにおけるサービス担当者会		
					議, ケアカンファレンスに関する問題		
合計	6 時間	3 時間	3 時間				
шш	2 23 [6]	1 IEI	(H)				

6 老化の理解(6時間)							
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法		
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要		
①老化に伴うこころとからだの変	3 時間	3 時間	0 時間		○講義		
化と日常					・老化に伴う防衛反応(反射)の変化と喪		
					失体験を心身の変化の特徴としてテキス		
					トに沿いながら説明する。		
					・咀嚼機能の低下、筋・骨・関節・体温維		
					持機能の変化など、身体的・精神的機能		
					の変化とそれに伴う日常生活への影響を		
					学ぶ。		
					〇演習		
					・「加齢・老化に伴う心身の変化」につい		
					て、グループで整理する。グループから		
					の発表を受けて、講師が補足し総括。老		
					化は、私たち(受講者)一人ひとりの心		
					身にもみられる身近なテーマであり知識		
					であることにも気づいてもらい、今後と		
					も理解と関心を高めることを助言する。		
②高齢者と健康	3 時間	0 時間	3 時間	第2回	〇添削課題出題ポイント		
				問題 18 問題 19	・高齢者の健康に関する問題		
				問題 20	・高齢者の意識障害に関する問題		
				問題 21 問題 22	・老化に伴う疾患に関する問題		
				問題 23	・廃用症候群が引き起こす症状に関する問		
				問題 24	題		
				問題 25	・高血圧症に関する問題		
					・老人性高血圧に関する問題		
					・老化に伴う脳血管疾患に関する問題		
合計	6 時間	3 時間	3 時間				

7 認知症の理解(6時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①認知症を取り巻く状況	3 時間	3 時間	0 時間		○講義 ・老化の理解では、介護の原因となる 「体」の病気・障害を多く学んだが、ここでは「心」の病気・障害として、現場で多くの利用者が患っている「認知症」について学ぶことを伝える。 ・認知症ケアの視点、具体的にはパーソンセンタードケアについて、テキストに沿いながら説明する。 ○演習 ・上記の講義をふまえ、DVD教材を活用して、実際の認知症の利用者を紹介するともに、どのような対応が望ましいか、グループで討議。グループからの発表を受けて、講師が整理し助言、総括する。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1 時間	0 時間	1 時間	第 2 回問題 26問題 27問題 28問題 29問題 30問題 31	 ○添削課題出題ポイント ・認知症に似た症状に関する問題 ・改訂長谷川式簡易知能評価スケールに関する問題 ・認知症の原因となる主な疾患に関する問題 ・アルツハイマー型認知症と脳血管認知症の比較に関する問題 ・認知症の原因疾患に関する問題 ・認知症に関する問題 ・認知症に関する問題
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1 時間	0 時間	1 時間	第 2 回 問題 32 問題 33 問題 34 問題 35	○添削課題出題ポイント ・周辺症状に関する問題 ・基本的なケアに関する問題 ・認知症の人のケアマネジメントセンター 方式に関する問題 ・認知症の人に関わる介護職員に関する問題 題
④家族への支援	1 時間	0 時間	1 時間	第2回問題36問題37問題38	○添削課題出題ポイント・家族への支援に関する問題・家族介護者へのエンパワーメントに関する問題
合計	6 時間	3 時間	3 時間		

8 障害の理解(3時間)						
項目名	時間数	通学	通信	添削課	講義内容及び演習の実施方法	
		時間数	時間数	題番号	通信課題の概要	
①障害の基礎的理解	1 時間	0 時間	1 時間	第3回	〇添削課題出題ポイント	
				問題 1 問題 2	・ICF の考え方に関する問題	
				問題 3	・障害の概念に関する問題	
					・障害者基本法に関する問題	
②障害の医学的側面、生活障害、	0. 5	0 時間	0.5時	第3回	〇添削課題出題ポイント	
心理・行動の特徴、かかわり支援	時間		間	問題 4 問題 5	・肢体不自由障害に関する問題	
等の基礎的知識				問題 6	・音声, 言語, 咀嚼機能障害に関する問題	
				問題 7 問題 8	・内部障害に関する問題	
				口起 0	・精神障害に関する問題	
					・知的障害に関する問題	
③家族の心理、かかわり支援の理	1.5	1. 5	0 時間		○講義	
解	時間	時間			・障害の受容の過程を通し、家族への支援	
					とその方法についてテキストに沿って伝	
					える。	
					〇演習	
					・家族を支える仕組みについて、何がある	
					か、何ができるかをグループで討議。グ	
					ループからの発表を受けて、講師が整理	
					し助言、総括する。	
合計	3 時間	1.5	1. 5			
		時間	時間			

9 (9 こころとからだのしくみと生活支援技術(75 時間)								
基本知	項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要			
基本知識の学習	② 介護の基本的な考え方	4.5 時間	4.5 時間	0 時間		○講義 ・「理論と法的根拠に基づく介護」というタイトルのもと、初日からここまで学んできた、本来行われるべきICFの視点・理論と法的根拠に基づいた介護について、改めて確認する。 ○演習 ・上記の講義、及び初日からの講義をふまえ、適切なサービス提供のために必要な視点や理論や根拠にはどのようなものが考えられるか、グループで討議。グループからの発表を受けて、講師が整理し助言、総括する。			
	②介護に関するこころのし くみの基礎的理解	3 時間	0 時間	3 時間	第 3 回 問題 9 問題 10 問題 11 問題 12 問題 13	○添削課題出題ポイント ・記憶の基礎知識に関する問題 ・感情の基礎知識に関する問題 ・マズローの欲求階層説に関する問題 ・障害への心理的反応に関する問題 ・障害受容に関する問題			
	③介護に関するからだのし くみの基礎的理解	3 時間	0 時間	3 時間	第3回問題14問題15問題16問題17問題18問題19問題20問題21	○添削課題出題ポイント ・人体の構造に関する問題 ・人体の機能に関する問題 ・バイタルサインに関する問題 ・骨,関節,筋の基礎知識に関する問題 ・中枢神経系に関する問題 ・末梢神経系に関する問題 ・自律神経の機能に関する問題 ・老化と加齢に関する問題			
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	3.5 時間	1. 5 時間	2 時間	第 4 回 1 2 日間 問題 題題 題題 題題 題 5 6	○講義 家事サービスのあり方について説明する。 買い物、調理(食事)、選択、衛生管理、清掃などの項目に分理のでは、 選択での項目に分理をしたう要性を活とのでは、 生活を要なるととのでは、 でをするのでは、 とこのでは、 とって、 とって、 とって、 とって、 とって、 とって、 とって、 とって			

⑤快適な居住環境整備と介護	3.5 時間	1.5 時間	2 時間	第 4 回 問題 8 問題 9	○講義 快適な居住環境整備について安全で快適な環境の基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用、住居内における事故防止(安全対策)についてテキストと事例を含め説明する。 ○演習利用者にとって快適な住環境、住居内で起このが表を受けて、講師が整理し助言、総括する。 ○添削課題出題ポイント・快適な居環境を開びでしていてが表を受けて、講師が整理し助言、総括する。 ・強調というの発表を受けて、講師が整理し助言、総括する。 ・強調というの発表を受けて、はいきでは、はいきに関する問題がはでいがけることに関する問題・福祉用具(機器)に関する問題
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	6 時間	0 時間		○講義 ・ここから先は、ADL (日常生活動作)すなわち生活場面ごとの「生活支援技術(自立度に応じた身体の介護技術)」を練習し、身につけていくこと、視野に入れた演習を含むことを伝える。・身体状況に合わせた衣服の選択と着脱、身支度、整容行動、洗面の意義・効果について学ぶ。 ○演習 ・受講者が、利用者役と介護者役で2人一組となり、提示した事例(利用者入について、利用者の自立に向けた法を考え、その実技を演習する。(座位、ベッド上)講師は都度、助言・指導する。
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	13 時間	13 時間	0時間		〇・ス・ス・ 一 は で は で は で は で は で は で は で は で は で は

	A =+ DD	A = + BB	A =+ DD	
⑧食事に関連したこころと	6 時間	6 時間	0 時間	O講義
からだのしくみと自立に向				・「食事」に関する知識を、テキストに
けた介護				沿いながら説明する。
				・「食事環境の整備」「食事に関連した
				福祉用具・食器の活用方法と食事形態
				とからだのしくみ」などのタイトルの
				もと、食事にかかる様々な事柄につい
				て、テキストに沿いながら、現場の実
				践例も交えて解説する。
				・「楽しい食事を阻害するこころとから
				だの要因の理解と支援方法」「食事と
				社会参加の留意点と支援」というタイ
				トルのもと、テキストに沿いながら、
				現場の実践例も交えて説明する。
				・口腔ケアの定義、誤嚥性肺炎の予防に
				ついて、テキストに沿いながら
				現場の実践例も交えて説明する。
				「現場の美銭例も文えて説明する。 ○演習
				・受講者が、利用者役と介護者役で2人
				一組となり、持参したお弁当を用い、
				提示した事例(利用者)について、利
				用者の自立に向けた食事方法を考え、
				実技を演習する。講師は都度、助言・
				指導する。
				・具体的には、肢体不自由者・視覚障害
				者への座位での食事、口腔ケアをロー
				ルプレイング形式で行う。
9入浴、清潔保持に関連し	6 時間	6 時間	0 時間	○講義
たこころとからだのしくみ	0 1.1111	0 14 1141	0 111111	・「入浴、清潔保持」に関する知識
と自立に向けた介護				を、テキストに沿いながら説明す
こ日至に同じた外段				る。
				・。
				用方法について、テキストに沿い、
				実物を用いながら解説する。
				・さまざまな入浴・清潔保持のための
				方法について、テキストに沿いなが
				ら、現場の実践例も交えて説明す
				る。
				・「楽しい入浴を阻害するこころとか
				らだの要因の理解と支援方法」とい
				うタイトルのもと、テキストに沿い
				ながら、現場の実践例も交えて説明
				する。
				〇演習
				・簡易浴槽やお湯やタオルを用い、受
				講者が、利用者役と介護者役で2人
				一組となり、提示した事例(利用
				者)について、利用者の自立に向け
				た入浴・清潔保持の方法を考え、実
				技を演習する。講師は都度、助言・
				指導する。
				・具体的には、浴室での洗体・洗髪介
				助、浴槽の出入りの介助、清拭、座
				助、浴槽の出入りの介助、清拭、座 位での足浴、爪切りをロールプレイ

⑩排泄に関連したこころと	6.5時	6.5時間	0 時間	〇講義
からだのしくみと自立に向	間			・「排泄」に関する知識を、テキスト
けた介護				に沿いながら説明する。
				・さまざまな排泄環境整備と排泄用具
				の活用方法について、テキストに沿
				い、実物を用いながら解説する。
				・「爽快な排泄を阻害するこころとか
				らだの要因の理解と支援方法」とい
				うタイトルのもと、生理的・心理
				的・社会的な意味、プライド・羞恥
				心、プライバシーの確保、おむつは
				最後の手段であること、おむつ使用
				の弊害、排泄障害が日常生活上に及
				ぼす影響、排泄ケアを受けることで
				生じる心理的な負担・尊厳や生きる
				意欲との関連、便秘の予防につい
				て、テキストに沿いながら、現場の
				実践例も交えて説明する。
				○演習
				・ポータブルトイレやおむつを用い、
				受講者が、利用者役と介護者役で2人
				一組となり、提示した事例(利用者)
				について、利用者の自立に向けた排泄
				方法を考え、実技を演習する。講師は
				都度、助言・指導する。
				・具体的には、ベッド上での紙おむつ
				交換の介助、ベッドからベッド横ポー
				タブルトイレでの排泄介助をロールプ
				マラルドイン(の弥漫) 助をロールフト レイング形式で行う。
₩ □ ¥ □ □ (= 88 4 = = 7 4.	0 n+ 88	0.0+88	^ n+ 88	
⑪睡眠に関したこころとか	3 時間	3 時間	0 時間	O講義
らだのしくみと自立に向け				・「睡眠」に関する知識を、テキスト
た介護				に沿いながら説明する。
				・さまざまな睡眠環境と用具の活用方
				法について、テキストに沿いながら
				説明する。
				・「快い睡眠を阻害するこころとから
				だの要因の理解と支援方法」という
				タイトルのもと、安眠のための介護
				の工夫、安楽な姿勢・褥瘡につい
				て、テキストに沿いながら、現場の
				実践例も交えて説明する。
				〇演習
				・受講者が、利用者役と介護者役で2
				人一組となり、ベッドを用いて、提
				示した事例(利用者)について、ベ
				ッドメイキングや体位変換など利用
				者の自立に向けた睡眠方法を考え、
				実技を演習する。講師は都度、助
				言・指導する。
				H 1847.00

_	愛なにゆくした眼しナーニ	C n±88	0 n±88	0 n±88	** 4 🗆	○無辛		
	②死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	5 時間	3 時間	2 時間	第 4 回 問題 11 問題 12 問題 13	 ○講義 ・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみについて、テキスえて説明する。 ・生から死への過程、死に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への選びが理解できるようになる。 ○尊厳ある死についてグループで、講師が整理し助言、総括する。 ○添削課題出題ポイント ・死への過程と死に関する問題・死にゆく人のこころの過程に関する問題・死にゆく人のこころの過程に関する問題・死にゆく人のこころの過程に関する問題 ・死にゆく人のこころの過程に関する問題・死にゆく人のこころの過程に関する問題 ・死にゅく人のこころの過程に関する問題 ・死にゅく人のこころの過程に関する問題 ・死にゅく人のこころの過程に関する問題 		
生	③介護過程の基礎的理解	2 時間	〇講義 • 介護過源	短の日的・	音義・屈門	まについて テキストに沿いたがら解説す		
生活支援技術演習			・介護過程の目的・意義・展開について、テキストに沿いながら解説する。 ・介護過程とチームアプローチについて、テキストに沿いながら、現場の事例なども交えて説明する。 〇演習 ・個別援助計画書の作成を行う。					
	⑭総合生活支援技術演習	10 時間	 ○講義 ・事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→課題の発見という流れをグループごとに行う。 ○演習 ・事例は高齢(認知症・片麻痺)の2事例 					
実習		0 時間						
	合計	75 時間						
1 0	振り返り(4 時間)							
	項目名	時間数			講義内容	及び演習の実施方法		
①振り	返り	2 時間	□ ○講義 ・研修を通して学んだこと、継続して学ぶべきこと、根拠に基づく介護 についての要点をおさらいする。 ○演習 ・介護職として重要な視点・姿勢についての要点を、グループで討議。 グループからの発表を受けて、講師が整理し、総括する					
_	される と 研修修了後にお続いな研修	2 時間	〇講義 ・「介護! もと、: る。 〇演習 ・次のス	職員として 介護サービ テップへ高 で討議。グ	就業後も網 これに従事 めるため網	**続して学ぶべきこと」などのタイトルのしてからのあるべき姿について、伝達す **続して学習・研鑽する課題について、グ 5の発表を受けて、講師が整理し助言、総		
	合計	4 時間						
	全カリキュラム合計時間		130 時	間				

- **全カリキュラム合計時間** 130 時間 ※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
- ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること